

鎌 総 第 1508 号

令和元年（2019年）8月15日

鎌倉市議会議長

久 坂 く に え 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当（内線2242、2243）

議会受付番号	文書質問第8号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (共創計画部交通政策課) (都市整備部道路課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第8号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

別紙写真の通り金沢街道方面の5番乗場バス路線の列は、恒常的な混雑により歩道が塞がれており通行に支障が出ている。また、トイレの列も恒常的に通路を塞いでいる状況であるが、再三指摘しているにもかかわらず、これらの問題について対応できておらず、一向に改善されていない。

現在行われている鎌倉駅東口駅前広場整備工事のレイアウト変更により、5番乗場の後ろにはタクシー降り場、障害者乗降場が設置されるが、その事により、交番との間の幅員も余裕が無いので通行が困難な状況に拍車がかかり、更に混乱状態に陥るのは明白である。

また、タクシー降り場、障害者乗降場への出入りは、バス待ちの列により塞がれるので、出入りが困難な状況である事は容易に想像できるが、問題ありとの指摘に耳を貸さずに、強引に工事を進めようとしている。

バス待ちの列を並列にすれば良いと交通政策課では言っているが、行先別ですでに並列待ちになっているので、更に列を横に増やすのは不可能である。また、バス待ちの列をさらに横に広げて並んだら、通行する為の幅員の確保ができなくなると共に、駅ビルへの出入り口を塞ぐ事になる。

レイアウト変更により現状より問題が起こる事は、現場を理解していればわかる事である。しかし鎌倉市役所は現場を理解しておらず、交通事業者と協議をして決めたので問題ないとの責任転換のいい訳しかせず、問題を大きくする方向で強引に進めようとしている。現場の実態とかい離れた、改悪工事を何故強引に進めるのか？理由をご説明願いたい。

2 質問の理由

すでに工事は実施されており、改善をはからないと取り返しのつかない事になるので。

3 答弁

鎌倉駅東口駅前広場整備については、土地所有者である東日本旅客鉄道株式会社をはじめ、バス・タクシーなどの交通事業者や交通管理者である警察と協議するとともに、近隣自治・町内会、商店会等からの意見を踏まえ計画案をまとめてきました。今回の整備は限られたスペースでの駅利用者の利便性及び安全性の向上を目的としたもので、広場の形状や機能を大きく変更するものではありませんが御指摘の5番乗場付近の歩道幅員は、今回の整備で4.2mから5.5mに拡幅することとし、安全性の向上を図ることとしております。

なお、バス待ちの改善の取組については、バス便の増発によるバス待ちの列を減らす手法や、警備員の配置等について、今後、バス事業者と協議・調整をしてまいります。